

コミュニティ福祉学部教育目的

「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。

学修成果

<学部全体>

◆学部理念・目的の習得

1. 「いのちの尊厳のために」(Vitae Dignitati)という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。(「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「5. 他者を理解する姿勢」「9. 社会的実践力」と関連)

2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。(「2. 専門性」「9. 社会的実践力」と関連)

◆知識・技術の習得

1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「5. 他者を理解する姿勢」「9. 社会的実践力」と関連)

2. 導入教育として実施されている基礎演習をとおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。(「1. リベラルアーツの素養」「3. 自己を理解し発展させる力」「6. 表現力」と関連)

3. キャリア教育やインターンシップにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「5. 他者を理解する姿勢」「8. 国際性」「9. 社会的実践力」と関連)

4. 完成期に配置されている演習科目等をとおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。(「2. 専門性」「5. 他者を理解する姿勢」と関連)

5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。(「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「8. 国際性」と関連)

◆現場に立った実地学習の習熟

フィールド型学習(福祉学科:ソーシャルワーク実習、コミュニティ政策学科:フィールドスタディ、スポーツウエルネス学科:スポーツウエルネスワークショップ、そして各学科で履修できるインターンシップ)等を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「6. 表現力」「7. リーダーシップ」「9. 社会的実践力」と関連)

◆実践能力と研究能力の統合

人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴き、生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。(「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」「9. 社会的実践力」と関連)

<福祉学科>

1) 専門的対人援助職であるソーシャルワーカーに必要な「理論・制度・サービスの理解」、「援助の方法・技術の理解」及び両者を統合する場としての「演習・実習による理解」に対応した知識・技術を総合的に習得する。(「1. リベラルアーツの素養」「2. 専門性」「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」と関連)

2) 福祉実習関連科目などの学びを踏まえて、現場実習というフィールドワーク、臨床の現場での実践に結び付けることができる実践能力を習得する。(「2. 専門性」「6. 表現力」「9. 社会的実践力」と関連)

3) 国家試験指定科目および「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導2」などを履修し、学修成果として、「社会福祉士」および「精神保健福祉士」の国家試験の受験資格を取得することができる。(「2. 専門性」「4. キャリア展望を確立する力」「7. リーダーシップ」と関連)

※( )内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム

コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連

(◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)

科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連								
				1) 学部理念・目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 福祉制度、心身の健康と福祉援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6) 福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付けられる能力の習得	7) 社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を得ることができる		
社会福祉の原理と政策1	専門必修科目	1	現代社会における福祉問題を発見し、解決にむけての援助技術、福祉制度・政策を考えることができる。また、福祉施設・機関での福祉実践の実態を理解することができる。		◎							◎
基礎演習	専門必修科目	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得することができる。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	◎	◎							
社会福祉入門演習	専門必修科目	1	社会福祉の様々な分野について基本的な理解を進め、2年次、3年次に展開する領域別学習・実習について予備知識を得る。さらに、自身のキャリアについて考えることができる。	◎	◎				◎			
社会問題のインターセクショナルリティ	専門必修科目	2	現代社会に生起する諸事象をフィールド実践をもとに批判的に捉え返し、今日的課題としての倫理・社会正義・公平性等を自ら考察する力を修得することができる。	◎	○	○	◎					
ソーシャルワーク演習	専門基幹科目	2~4	社会福祉専門職として必要な視点や原則、姿勢・態度について理解を深め、援助技術の基礎を身に付けることができる。実践現場で展開している様々な実践活動に参加し、その経験から自らの視点を形成することができる。現場で起こる諸課題を理解し、これを知識として組織化することができる。	◎	○	◎	◎	△		△		◎
社会福祉調査の基礎	学部共通科目	2~4	社会福祉が対象とする社会問題・生活問題に関わる調査の意義・背景・方法を学び、基本的知識の習得ができる。			◎	○					
社会調査法	学部共通科目	1~4	社会調査の意義・背景・方法に関わる基本的知識の習得ができる。	○	◎	△	○					○
情報処理1	学部共通科目	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的パソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎							
情報処理2	学部共通科目	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方や効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎							
ウエルネス福祉演習	学部共通科目	1~4	ストレスに満ち溢れた現代社会にあって、「癒し」の体験は、ウエルネス向上を考えるととても重要な要素となる。ここでは自然豊かな森の環境で実際に「癒し」を体験し、癒しを導くノウハウを学習することができる。	◎	◎	△	◎					◎
情報処理3	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的な業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎							
情報処理4	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的な業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎							
グローバル社会で活躍するための英語1 ー海外の団体や外資系企業から学ぶー	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、国際団体など)	○	◎	◎						

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助術の各領域・技術的習得	6) 福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習・臨床現場での実践に結びつける能力の習得	7) 社会福祉士および精神福祉士の国家試験受験資格等取得できる
グローバル社会で活躍するための英語2 ー海外の団体や外資系企業から学ぶー	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、日本企業の商社、外資系企業など)	○	◎	◎				
ノーマライゼーション論	学部共通科目	1~4	ノーマライゼーション原理誕生と発展プロセスを取り上げ、この原理を具現化するためにはどうしたらよいかを検討することができる。	◎						
キャリア形成論1(福祉系)	学部共通科目	1~4	児童、障害、高齢、地域、精神、医療のソーシャルワーカーの領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
キャリア形成論2(コミュニティ政策系・スポーツウエルネス系)	学部共通科目	1~4	コミュニティ政策・スポーツウエルネスの諸領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
異文化スタディ	学部共通科目	1~4	海外の研修地において社会問題に取り組む諸団体を訪問し、その支援方法を理解するとともに、英語研修、ホームステイにより、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	○	◎	◎	○			
ウエルネス福祉論	学部共通科目	1~4	ウエルネスとは何かを理解し、生きがい感を持った全人的QOLの構築には何が必要かというテーマについて議論することができる。	◎	△	△	△			
現代キリスト教人間学	学部共通科目	1~4	現代社会において様々な理由によって自己を喪失して行く個とパートナーシップを欠如して行く個に対してキリスト教はどう応えているのかを考察することができる。	○		◎				
コミュニティ福祉とキリスト教	学部共通科目	1~4	ユダヤ教とキリスト教の伝統を事例にとりあげ、人間観とコミュニティ理念の形成に宗教が果たした役割を考察することができる。	◎	○	○	△		△	◎
人権論	学部共通科目	1~4	私達の身近に存在していても気付かない関係ない難しいものと考えてしまう人権について弁護士の活動を通じた具体的な事例で認識し理解し考えることができる。	◎			○			
福祉文化論	学部共通科目	1~4	福祉文化とは何かを探究する。福祉文化の負の遺産に思いを馳せながらワクワクするような福祉文化実践に触れ、感じた事を表現し合う場を創出することができる。	◎						
生涯スポーツ論	学部共通科目	1~4	従来の「スポーツ振興」の概念とは異なるスポーツプロモーションの視点から生涯スポーツ論の性格、内容、展開の現状や特徴について理解することができる。		◎	△				
社会保障総論	学部共通科目	1~4	社会保障の概念やわが国の社会保障制度の概要を理解し、医療保険及び介護保険を通じて、社会保険に関する基礎知識を身につけることができる。	○			◎			○
高齢社会システム論	学部共通科目	2~4	高齢社会を歴史的変革期として理解し、老いをめぐる問題を現代人全世代の生き方が問われる問題として考え、これからの社会への展望につなげる術を模索することができる。	◎		△				
ジェンダー論	学部共通科目	2~4	ジェンダー概念を基礎にして、「みよとしなければみえないものをみる力」を各自が醸成すること、自分の可能性を広げることができる。	○	○		◎			
障害学入門	学部共通科目	2~4	障害という様々な身体的特質を持つ人々と、彼らに関わる人たちの話を聞き、その出会いを通じて想像力と可能性を広げ養うことができる。	◎		△	○			
家族社会学	学部共通科目	2~4	家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学ぶこととおして、誰もがもっている家族についての「常識」を相対化することができる。	○			◎			
人間心理の深層	学部共通科目	2~4	時として真善美に反したことを考え行動してしまう人間存在とは一体何なのか、それ以前に真善美は人間から超越して存在しうるのかといった事柄について考察する力を身につけることができる。	○		△	○			○
日本の文化と思想	学部共通科目	2~4	文化政策を個々の地域で展開していく際、その地域の伝統的な文化や生活観・労働観を如何なる形で取り込んでいったらよいかを考察するための基本的な事柄について知ることができる。	◎	○					○
発育・発達・加齢論	学部共通科目	2~4	発育・発達の性差と個人差、運動との関係、現代のこどもの諸問題、加齢に伴う生体構造、機能の変化についての知識を深めることができる。	○	△	○				
コミュニティ平和論	学部共通科目	2~4	人間の生命とその生存基盤(サブシステム)を重視し、戦争だけでなく暴力のない永続可能な社会をめざす平和学を、各地の現実や現場の実践から理解することができる。	◎	◎	△	○		△	◎
家族心理学の基礎	学部共通科目	2~4	家族システムや家族への援助に関する具体的な基礎知識を学ぶことができる。		○	○	○	◎		
ファシリテーション論	学部共通科目	2~4	コミュニティやグループの合意形成と協働を促すファシリテーションの技術を習得し、自身で実際にファシリテーションを企画・実施できるようになる。	○	△	△			◎	△
ライフサイクルの心理学	学部共通科目	2~4	人間のライフサイクルを通じた発達プロセスについて理解し、人間理解を深めると共に対人支援の方法について考えることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
セクソロジー	学部共通科目	3~4	人間の性について、身体的発達、心理的発達、社会関係の発達の側面から学び、現代社会における性の問題をさまざまな角度から考察することができる。	◎	◎	○	○			
グリーフスタディ	学部共通科目	3~4	様々な局面から生じるグリーフ(悲嘆)とグリーフワーク、その支援についての理解を深めることができる。	◎	○	○				
アジアの宗教と文化	学部共通科目	3~4	東アジア、南アジアさらに中東などのアジアの宗教と文化の基礎的な知識を身につけることができる。	○	○					○

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習・臨床現場での実践に結びつける能力の習得	7)社会福祉士および精神福祉士の国家試験受験資格等取得できる
社会福祉発達史1	学部共通科目	3~4	ヨーロッパやアメリカにおける社会福祉の発達史を学ぶことにより、社会福祉とは何かということを実証的に学習し、視点や枠組みを獲得することができる。	○			◎			
社会福祉発達史2	学部共通科目	3~4	日本が抱える社会福祉の課題を、社会福祉のあゆみから実証的に指摘することができる。	○			◎			
リスクマネジメント論	学部共通科目	3~4	これまでにみられる数々のリスクマネジメントの現状を把握すると同時に、実際に起きたスポーツ事故を取り上げ、事故予防の観点から、事故の詳細について様々な角度からの把握に努める。また、安全対策および心肺蘇生法をはじめとした対処方法を考え、安全なスポーツ環境の構築に向けた課題解決へのアプローチ方法を考察することができる。		◎	○	○			
現代コミュニティ福祉学特別講義A	学部共通科目	2~4	海外からの招聘教授などが担当し、福祉、コミュニティ政策、スポーツウエルネスいずれかの分野についてグローバルな視点から各分野の最前線のトピックについて理解できる。	○	△		○			
現代コミュニティ福祉学特別講義B	学部共通科目	2~4	海外からの招聘教授などが担当し、福祉、コミュニティ政策、スポーツウエルネスいずれかの分野についてグローバルな視点から各分野の最前線のトピックについて理解できる。	○	△		○			
家族福祉論	専門基礎科目	1~4	多様化する現代家族の態様と福祉ニーズを把握し、家族をめぐる政策動向を分析したうえで、家族福祉の必要性と展望について理解できる。				◎	○	◎	○
福祉機器論	専門基礎科目	1~4	高齢者や障害者の生活を助ける重要な要素である福祉機器について、実用化・普及しているものから、先端技術の応用まで、広く理解することができる。	◎	○					○
ソーシャルワークの理論と方法1	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワーク実践とは何かを理解し、「人が人を援助すること」や「生活を想像すること」などについて考える力を養成することができる。	◎	◎	◎	○	◎		◎
精神保健福祉の原理1	専門基礎科目	1~4	精神医療の特性や精神障害者に対する支援の基本的考え方を理解することができる。	◎	◎	◎	○	◎		◎
介護概論	専門基礎科目	1~4	介護を必要とする人々や、介護者が直面する介護課題を理解し、その支援方法や実践課題を考察することができる。	○	○	◎	◎	○		○
医学概論	専門基礎科目	2~4	医学とはどのような学問なのか、どのような疾病があるのかを理解する。現代社会と医学との関りを自ら考える。自らの健康について考えることができる。	◎	○			◎	△	◎
発達障害論	専門基礎科目	1~4	発達障害についての基本的知識を身につけ、支援の実践を学ぶ。さらに支援のはざまにある課題について自分なりに考察できるようにする。	◎	◎		△	◎	○	○
ソーシャルワークの基盤と専門職1	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワークの目的・機能・対象・方法などを理解し、ソーシャルワークの全体像を把握できる。	○	◎	◎	◎	◎		◎
ソーシャルワークの基盤と専門職2	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワークの主要な理論を理解し、実践への適用について理解できる。		◎	◎	◎	◎		◎
心理学理論と心理的支援	学部共通科目	2~4	成長と発達についての心理学理論を理解し、カウンセリングの手法について理解できる。		◎	◎	◎			○
社会理論と社会システム	学部共通科目	2~4	現代社会の法・経済と社会システムについての理解、生活の理解、人と社会の関係、そして社会問題の捉え方などについて理解し、考察できる。		◎			◎		◎
社会福祉法制	専門基礎科目	1~4	社会福祉を実施していくための法ならびに行政制度の仕組みについて理解することができる。	◎	◎			◎		○
ソーシャルワーク演習(専門)1	専門基礎科目	2~4	社会福祉専門職として、必要な視点や原則、姿勢・態度について理解し、援助技術の基礎を身に付けることができる。また、事例当の活用をとおして、より具体的な相談援助場面や地域福祉の実践過程を想定し、総合的かつ包括的な援助技術および地域福祉の基盤整備と開発について理解を深める。	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
精神保健福祉援助演習1	専門基礎科目	2~4	精神保健福祉援助の知識と技術にかかわる他の科目との関連を視野にいれつつ、精神保健福祉士に求められる専門的援助技術について、概念化・理論化し、体系だてていく能力を身に付けることができる。精神障害のある人の生活や生活上の困難について把握し、ソーシャルワーカーに求められる相談援助に関わる専門性について、実践的に修得する。			◎				◎
児童福祉論	専門基礎科目	1~4	児童福祉の法・制度、理論、実践、諸条件などを子どもや家族の現実などの具体例を紹介するなかで学び、わが国の当面する児童福祉の課題を理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	○	◎
児童福祉実践論	専門基礎科目	2~4	児童福祉分野、とくに施設における実践のあり方、実践の基本を理解することができる。	◎	◎	◎	◎		◎	
貧困に対する支援	専門基礎科目	2~4	公的扶助の最近の動向及び現実的課題などを紹介し、最低生活保障における経済給付と自立に向けた社会福祉援助・支援活動を理解することができる。	◎	◎	○		◎	○	◎
高齢者福祉論	専門基礎科目	1~4	我が国が直面する超高齢社会のあり様を知り、社会問題、家庭問題としての高齢者問題について正確に把握し、誰にでも訪れる老いを理解できる。また、高齢者福祉の法、制度、理論について修得する。	◎	◎	△	○	◎	○	◎
高齢者福祉実践論	専門基礎科目	2~4	実際に高齢者福祉の現場で取り入れられているケアの手法や理論を具体的に学び、現場での福祉実践のあり方を理解することができる。	◎	△	◎	○	◎	◎	



コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結びつける能力の習得	7)社会福祉士および精神福祉士の国家試験受験資格等取得できる
障害者福祉論	専門基礎科目	1~4	知的障害者・身体障害者・精神障害者に対する支援と障害者自立支援制度の仕組みを学び、支援のあり方と制度との関係、実態と課題を理解することができる。	◎	◎		○	◎	◎	◎
地域福祉論1	専門基幹科目	2~4	超高齢社会・少子社会・人口減少社会・多文化社会の進行と地域福祉課題の推進	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
地域福祉論2	専門基幹科目	2~4	地域福祉の理論と方法について、多角的・構造的に理解を深めるとも地域包括	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
女性福祉論	専門基幹科目	2~4	性差別を基底とした女性問題の現状を理解し、その解決に向けた社会福祉の役割を女性福祉の視点から解明する。又、支援者に必要なスキルを修得することができる。	○	○		○	◎	○	△
介護技術論	専門基幹科目	2~4	介護現場の実践で活用されている介護技術の基本を学び、質の高いケアに関する知識と基本技術を学ぶことができる。	○	◎	◎	◎	○	○	
精神医学1	専門基幹科目	2~4	ヒトの「身体」、「心理」、「社会」的な各側面をバランスよく理解・判断していくための精神医学的基礎知識を修得することができる。	○	○			△	△	◎
精神医学2	専門基幹科目	2~4	他者について、あるいは自分について、その精神や行動をみていく時、様々な情報に振り回されず本質を見分けていくための考え方を養うことができる。	○	○			△	△	◎
精神保健福祉の原理2	専門基幹科目	2~4	精神障害者のあり様と精神障害者をとりまく施策や支援を理解し、精神保健福祉の理念と意義を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
精神保健福祉制度論	専門基幹科目	2~4	精神障害者に対する医療・保健・福祉についての基礎的な仕組みを学び、精神障害者を支援する上での基礎となる理念・価値観・制度を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
福祉環境論	専門基幹科目	2~4	高齢社会における社会システム再構築と福祉に関する制度・政策を考慮しながら、住宅・福祉施設等について建築的視点を含めて住環境を理解することができる。	◎	○			◎		○
保健医療と福祉	専門基幹科目	2~4	社会に存在したあるいは現在存在する、医療に関係する諸問題に関心を持つ。さらにその解決方法を多角的に思考できるようにする。日常的に社会問題に関心を持ち、自ら情報を収集することができる。	○	◎		○	◎		◎
ソーシャルワークの理論と方法(精神)1	専門基幹科目	2~4	精神障害領域におけるソーシャルワークの理論と実際を学び、基盤となる視点、価値観を理解することができる。	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
家族臨床心理学	専門基幹科目	2~4	近年社会の変動とともに、変化を余儀なくされている家族のかたちや機能について理解を深め、対人援助の現場で役立つ実践的な知識を得ることができる。	○	○			△	△	○
障害幼児ソーシャルワーク論	専門基幹科目	2~4	環境設定や関わりの仕方に工夫を凝らし、子どもたちが楽しい集団生活が送れるようにするための支援の方法を考えることができる。		○	◎	○	◎	◎	
ソーシャルワークの理論と方法2	専門基幹科目	2~4	個別支援及び面接技法等を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎		◎
ソーシャルワークの理論と方法3	専門基幹科目	2~4	グループワーク・集団支援を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎		◎
ソーシャルワークの理論と方法4	専門展開科目	2~4	地域におけるネットワーク、社会資源活用等を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎	○	◎
社会保障論	専門基幹科目	2~4	わが国社会保障制度の体系を学び、年金問題を中心に、社会保障の機能や課題を理解し、今後の強靱な社会保障のあり方を考える力を身につけることができる。	○			◎			◎
Human Diversity and Social Justice in Social Work	専門基幹科目	2~4	ソーシャルワークの重要な原理とされる「多様性」と「社会正義」をキーワードに、グローバルな観点から、今日的課題を英語で学ぶ。	◎	◎		○			
ソーシャルワークの理論と方法(精神)2	専門展開科目	3~4	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの理論と実際を学び、基盤となる知識・技術、価値について修得し、理解することができる。	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
精神障害リハビリテーション論	専門基幹科目	2~4	現代社会で増加傾向にある人間関係障害との関係性を考察しながら、精神科リハビリテーションに携わる援助者が持つべき基本姿勢について理解することができる。	◎	◎	○	△	○	○	◎
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(福祉系)	専門基幹科目	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。福祉の分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を学ぶ。		○					
英語で学ぶ海外福祉の現状	専門基幹科目	2~4	福祉に関するトピックスを英語で学ぶ。本科目は英語を勉強する科目ではなく、英語を言語として福祉を学び、自分の意見を伝えることができる。		○					
インターンシップ	専門展開科目	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	○
ソーシャルワーク実習指導2	専門展開科目	3~4	ソーシャルワーク実習の意義について理解するとともに、相談援助に関わる知識と技能について具体的実践的に理解し、総合的に対応できる能力を習得することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソーシャルワーク実習	専門展開科目	3~4	ソーシャルワーク実習は、社会福祉士国家資格受験資格を取得するための24日間(180時間)の配属実習を行う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神保健福祉援助実習	専門展開科目	3~4	精神保健福祉の実際の現場と、ソーシャルワーカーの業務を実際に見て、疑似体験することで座学での知識を具体的な理解へとすすめ、自分のキャリアプランとすることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結びつける能力の習得	7)社会福祉士および精神福祉士の国家試験受験資格等取得できる
精神保健福祉援助実習指導2	専門展開科目	3~4	精神保健福祉援助技術実習の意義について理解するとともに、相談援助に関わる知識と技能について具体的実践的に理解し、総合的に対応できる能力を習得することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神保健福祉援助実習指導1	専門基幹科目	2~4	精神保健福祉援助技術実習の具体的な体験や活動を通して得た学びを振り返り、実践と理論を統合して理解することができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソーシャルワーク実習指導1	専門基幹科目	2~4	ソーシャルワーク実習の具体的な体験や活動を通して得た学びを振り返り、実践と理論を統合して理解することができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
ソーシャルワーク演習(専門)2	専門展開科目	3~4	社会福祉援助技術現場実習において学ぶ領域やテーマを明確にし、実習領域についてさらに専門的知識を身につけることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
キャリア形成演習	専門展開科目	3~4	社会福祉関係のキャリアのみならず、広く社会で活躍できる人材として自覚し、視野を広げ学んだことを生かしつつ、自身のキャリアについて考えることができる。		○	○				
精神保健福祉援助演習2	専門展開科目	3~4	精神保健福祉援助実習において行われる相談援助について理解した上で、自ら援助計画を立てることができる。	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
権利擁護を支える法制度	専門展開科目	3~4	人権と社会正義を基盤としたソーシャルワーク支援を行っていくのに必要な権利擁護の考え方や成年後見制度や虐待防止法など法制度と実際を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
社会福祉の原理と政策2	専門展開科目	3~4	現代社会における福祉問題を発見し、解決にむけての援助技術、福祉制度・政策を理解できる。また福祉施設・機関での福祉実践の実態を説明できる。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
福祉マネジメント論	専門展開科目	3~4	福祉サービスを提供する組織の基本的事項及びその経営と運営管理について理解することができる。	◎	○	◎	△	○	◎	○
福祉情報論	専門展開科目	3~4	福祉情報とは何か、その意義と利・活用について理解することができる。	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎
福祉産業論	専門展開科目	3~4	社会福祉と市場原理、高齢者福祉制度・産業の歴史と現状及び今後の課題、サービス供給側に求められる姿勢と経営のあり方等について考察することができる。	○	○					○
ケアマネジメント論	専門展開科目	3~4	ケアマネジメントの現状を把握し、利用者の力を引き出し、各種サービス提供者をコーディネートする技法を実践的に身につけることができる。	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
刑事司法と福祉	専門基幹科目	2~4	罪を犯した者の更生と社会復帰に関する相談援助活動を、更生保護制度等を通して理解することができる。	◎	◎	△	○	△	△	◎
リハビリテーション論	専門展開科目	3~4	社会福祉を学ぶ学生にとって、必要不可欠なリハビリテーション関連知識ならびに考え方、最新情報を修得することができる。	◎	◎	◎		○	○	◎
老年臨床心理学	専門展開科目	3~4	発達最終段階である老年期について心理的側面から理解し、高齢者に対する援助場面における理解・コミュニケーション法等について考察することができる。	◎	○			△	△	○
福祉学特論	専門展開科目	3~4	地域での障害者の自立を進める戦略であるCBR(地域に根差したリハビリテーション)から自立生活運動(IL)への変遷を考察することができる。	◎	○	◎		△	△	○
医療ソーシャルワーク実践論	専門展開科目	3~4	医療分野におけるソーシャルワークの必要性や効果を理解することができる。危機介入・システム理論などソーシャルワーク理論をどのように用いて問題解決するか、具体的な事例によって理解することができる。	○	◎	◎	○	◎	◎	○
精神保健学1	専門展開科目	3~4	精神保健領域で、最低限必要とされる障害や疾病についての基礎知識を得る。さらに、実践的な精神保健福祉現場での関わり方を理解することができる。	◎	◎		△	○	○	◎
精神保健学2	専門展開科目	3~4	精神疾患の治療・リハビリテーション・予防とともに、心の健康をいかに保持・増進していくか、またそれに寄与する様々な活動について理解を深めることができる。	◎	◎		△	○	○	◎
福祉社会論	専門展開科目	3~4	「福祉社会」の社会学という視点から福祉ボランティアが果たす役割などの検討を通して福祉社会の今日的課題について理解することができる。	◎		△	△	△	○	
家族援助論	専門展開科目	3~4	司法領域、児童福祉領域における家族の問題について、アセスメント、相談援助の方法、法的背景についての知識や、ケースの見立て、介入方針についての基礎を習得する。	◎	◎	○			◎	
雇用と福祉	専門展開科目	3~4	非正規雇用やワーキングプアなど、現代日本が抱えている雇用に関する諸問題をその背景とともに理解し、同分野の現代的な動向を自ら考察する力を身につけることができる。	○	◎					○
ボランティア論	専門展開科目	3~4	学生は、阪神淡路大震災時のボランティア活動の事例を通してボランティアの可能性と課題について理解することができる。	○	◎	○	○	△	○	
メンタルマネジメント	専門展開科目	3~4	ストレス反応や行動変容理論などの基礎的な知識、さらにストレスを生じないあるいはストレスフルな状況に負けない考え方を理解することができる。		◎	△	◎	◎		
卒業研究指導演習	専門展開科目	4	卒業研究の執筆・制作に関して、教員から指導・援助を受け作品を完成に向けて取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
卒業研究	専門展開科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
心理学1	専門関連科目	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○			◎			◎

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結びつける能力の習得	7)社会福祉士および精神福祉士の国家試験受験資格等取得できる
心理学2	専門関連科目	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。			○	◎			◎
生涯学習概論1	専門関連科目	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△		
生涯学習概論2	専門関連科目	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解していくことができる。		◎	△		△		
生涯学習支援論1	専門関連科目	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△		
生涯学習支援論2	専門関連科目	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△		
社会教育経営論1	専門関連科目	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△		
社会教育経営論2	専門関連科目	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△		